

2021年6月8日  
株式会社日本政策金融公庫

日本政策金融公庫の令和3年3月期決算について

損益計算書（令和2年4月～令和3年3月）

（単位：億円）

	経常収益		経常利益（▲損失）		当期純利益（▲純損失）		
	2/3期	3/3期	2/3期	3/3期	2/3期	3/3期	
日本政策金融公庫	4,694	4,788	▲293	▲10,370	▲296	▲10,372	
国民生活事業（国民一般向け業務勘定）	1,382	1,358	▲137	▲1,545	▲139	▲1,546	
農林水産事業（農林水産業者向け業務勘定）	432	499	0	0	▲0	0	
中小企業事業	中小企業者向け融資・証券化支援保証業務勘定	808	806	▲39	▲1,522	▲40	▲1,523
	中小企業者向け証券化支援買取業務勘定	6	7	1	1	1	1
	信用保険等業務勘定	1,953	2,016	▲23	▲7,188	▲23	▲7,188
危機対応円滑化業務（危機対応円滑化業務勘定）	112	101	▲93	▲116	▲93	▲116	
特定事業等促進円滑化業務（特定事業等促進円滑化業務勘定）	2	2	▲0	▲0	▲0	▲0	

貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：億円）

	総資産		純資産		
	2/3期末	3/3期末	2/3期末	3/3期末	
日本政策金融公庫	210,383	359,597	57,767	88,570	
国民生活事業（国民一般向け業務勘定）	73,663	137,784	8,977	25,172	
農林水産事業（農林水産業者向け業務勘定）	31,993	35,141	4,050	4,274	
中小企業事業	中小企業者向け融資・証券化支援保証業務勘定	50,180	84,789	13,943	20,849
	中小企業者向け証券化支援買取業務勘定	1,336	1,143	249	250
	信用保険等業務勘定	31,175	46,148	23,385	30,714
危機対応円滑化業務（危機対応円滑化業務勘定）	20,703	53,383	7,159	7,307	
特定事業等促進円滑化業務（特定事業等促進円滑化業務勘定）	1,332	1,219	1	1	

## 日本政策金融公庫 令和3年3月期決算の概要

### 【損益計算書】

- ・ 経常収益は、貸出金利息等による資金運用収益 2,102 億円、保険引受収益 2,012 億円、政府補給金収入 599 億円の計上等により、4,788 億円となった。
- ・ 経常費用は、借入金及び社債の支払利息等による資金調達費用 329 億円、保険引受費用 9,103 億円、営業経費 1,278 億円、貸倒引当金繰入額 4,075 億円の計上等により、1兆5,158 億円となった。
- ・ この結果、経常損失は1兆370 億円となり、特別損益を含めた当期純損失は、1兆372 億円となった。

### 【貸借対照表】

- ・ 資産の部合計は、35兆9,597 億円となり、その大部分は貸出金である。  
貸出金残高は、前期末に比べ12兆2,647 億円増加し、28兆9,457 億円となった。
- ・ 負債の部合計は、27兆1,027 億円となり、そのうち借入金が23兆7,138 億円、社債が1兆5,756 億円、保険契約準備金が1兆5,368 億円である。
- ・ 純資産の部合計は、出資金4兆1,176 億円の受入れ及び当期純損失1兆372 億円の計上等により、8兆8,570 億円となった。

## 令和3年3月期 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	令和2年3月期 (H31.4.1~R2.3.31)		令和3年3月期 (R2.4.1~R3.3.31)	
経常収益		469,463		478,800
資金運用収益	212,345		210,272	
役務取引等収益	1,391		2,673	
保険引受収益	194,860		201,250	
政府補給金収入	54,732		59,995	
その他経常収益	6,133		4,608	
経常費用		498,790		1,515,864
資金調達費用	38,368		32,947	
役務取引等費用	3,496		3,875	
保険引受費用	189,340		910,314	
その他業務費用	3,547		5,796	
営業経費	120,380		127,820	
その他経常費用	143,656		435,109	
経常利益(又は損失)		▲29,326		▲1,037,064
特別利益		104		49
特別損失		423		272
当期純利益(又は損失)		▲29,646		▲1,037,286

## 令和3年3月期末 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部			負債及び純資産の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)		令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)
現金預け金	4,401,127	7,403,520	借 用 金	12,810,374	23,713,831
有価証券	41,931	37,428	社 債	1,410,475	1,575,618
貸 出 金	16,680,995	28,945,758	寄 託 金	27,032	26,085
その他資産	37,882	44,911	保 険 契 約 準 備 金	773,166	1,536,853
有形固定資産	194,629	195,166	そ の 他 負 債	19,725	35,240
無形固定資産	15,741	18,302	賞 与 引 当 金	5,345	5,406
支払承諾見返	100,967	93,858	役 員 賞 与 引 当 金	24	24
貸倒引当金	▲434,924	▲779,151	退 職 給 付 引 当 金	88,748	90,283
			役 員 退 職 慰 労 引 当 金	60	49
			補 償 損 失 引 当 金	25,652	25,449
			支 払 承 諾	100,967	93,858
			負 債 の 部 合 計	15,261,572	27,102,700
			資 本 金	4,324,220	6,990,201
			資 本 剰 余 金	2,233,784	3,685,484
			利 益 剰 余 金	▲781,227	▲1,818,590
			純 資 産 の 部 合 計	5,776,777	8,857,095
資産の部合計	21,038,349	35,959,796	負債及び純資産の部合計	21,038,349	35,959,796

令和3年3月期 国民生活事業（国民一般向け業務勘定）

令和3年3月期 損益計算書

（単位：百万円）

科 目	令和2年3月期 (H31.4.1~R2.3.31)		令和3年3月期 (R2.4.1~R3.3.31)	
経常収益		138,257		135,840
資金運用収益	112,610		114,309	
役務取引等収益	0		0	
政府補給金収入	24,116		19,949	
その他経常収益	1,530		1,582	
経常費用		152,019		290,370
資金調達費用	4,159		3,433	
役務取引等費用	545		596	
その他業務費用	278		327	
営業経費	72,644		78,138	
その他経常費用	74,390		207,874	
経常利益（又は損失）		▲13,762		▲154,529
特別利益		98		49
特別損失		310		152
当期純利益（又は損失）		▲13,974		▲154,632

令和3年3月期末 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部			負債及び純資産の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)		令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)
現金預け金	335,150	1,225,787	借 用 金	5,753,200	10,513,211
貸 出 金	7,033,617	12,720,479	社 債	650,416	680,311
その他資産	10,304	9,910	その他負債	9,072	10,764
有形固定資産	96,580	96,383	賞 与 引 当 金	3,243	3,290
無形固定資産	8,505	8,428	役員賞与引当金	8	8
貸倒引当金	▲117,813	▲282,528	退職給付引当金	52,612	53,625
			役員退職慰労引当金	18	15
			負債の部合計	6,468,570	11,261,225
			資 本 金	1,223,643	2,997,738
			資本剰余金	181,500	181,500
			利益剰余金	▲507,369	▲662,001
			純資産の部合計	897,773	2,517,236
資産の部合計	7,366,344	13,778,462	負債及び純資産の部合計	7,366,344	13,778,462

## 概要（国民一般向け業務勘定）

### 1 損益計算書の状況

令和3年3月期は、資金運用収益1,143億円の計上等により、経常収益は1,358億円となった。一方、資金調達費用34億円、貸倒引当金繰入額1,972億円の計上等により、経常費用は2,903億円となった。

この結果、経常損失は1,545億円となり、特別損益を含めた当期純損失は1,546億円となった。

### 2 貸借対照表の状況

資産の部合計は、貸出金残高が前期末に比べ5兆6,868億円増加したこと等により、1兆3,784億円となった。

負債の部合計は、借入金の前期末に比べ4兆7,600億円増加したこと等により、1兆2,612億円となった。

純資産の部合計は、出資金1兆7,740億円の受入れ及び当期純損失1,546億円の計上により、2兆5,172億円となった。

令和3年3月期 農林水産事業（農林水産業者向け業務勘定）

令和3年3月期 損益計算書

（単位：百万円）

科 目	令和2年3月期 (H31.4.1~R2.3.31)		令和3年3月期 (R2.4.1~R3.3.31)	
経常収益		43,287		49,931
資金運用収益	25,899		23,612	
役務取引等収益	40		37	
政府補給金収入	16,002		25,636	
その他経常収益	1,344		645	
経常費用		43,239		49,905
資金調達費用	20,234		18,465	
役務取引等費用	2,488		2,746	
その他業務費用	73		29	
営業経費	15,498		15,749	
その他経常費用	4,944		12,914	
経常利益（又は損失）		48		25
特別利益		0		—
特別損失		48		25
当期純利益（又は損失）		▲0		0

令和3年3月期末 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部			負債及び純資産の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)		令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)
現金預け金	59,726	69,049	借 用 金	2,487,046	2,812,074
有価証券	3,217	3,244	社 債	259,981	224,984
貸 出 金	3,102,871	3,416,516	寄 託 金	27,032	26,085
その他資産	9,361	7,785	そ の 他 負 債	5,524	8,663
有形固定資産	32,847	33,066	賞 与 引 当 金	662	668
無形固定資産	3,177	4,141	役 員 賞 与 引 当 金	8	8
支払承諾見返	2,887	2,841	退 職 給 付 引 当 金	11,128	11,350
貸倒引当金	▲14,785	▲22,486	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	26	16
			支 払 承 諾	2,887	2,841
			負 債 の 部 合 計	2,794,298	3,086,694
			資 本 金	402,363	424,823
			利 益 剰 余 金	2,642	2,642
			純 資 産 の 部 合 計	405,005	427,465
資産の部合計	3,199,304	3,514,160	負債及び純資産の部合計	3,199,304	3,514,160

## 概 要（農林水産業者向け業務勘定）

### 1 損益計算書の状況

令和3年3月期は、資金運用収益236億円の計上等により、経常収益は499億円となった。

一方、資金調達費用184億円、貸倒引当金繰入額126億円の計上等により、経常費用は499億円となった。

特別損失を含め、所要の政策コストとして政府補給金収入256億円を計上し、この結果、当期純利益は0円となった。

### 2 貸借対照表の状況

資産の部合計は、貸出金残高が前期末に比べ3,136億円増加したこと等により、3兆5,141億円となった。

負債の部合計は、借入金の前期末に比べ3,250億円増加したこと等により、3兆866億円となった。

純資産の部合計は、出資金224億円の受入れにより、4,274億円となった。

令和3年3月期 中小企業事業（中小企業者向け融資・証券化支援保証業務勘定）

令和3年3月期 損益計算書

（単位：百万円）

科 目	令和2年3月期 (H31.4.1~R2.3.31)		令和3年3月期 (R2.4.1~R3.3.31)	
経常収益		80,812		80,698
資金運用収益	64,923		65,096	
役務取引等収益	131		157	
政府補給金収入	14,391		14,180	
その他経常収益	1,365		1,264	
経常費用		84,799		232,949
資金調達費用	5,666		4,423	
役務取引等費用	58		59	
その他業務費用	432		294	
営業経費	27,303		28,723	
その他経常費用	51,339		199,448	
経常利益（又は損失）		▲3,986		▲152,250
特別利益		6		—
特別損失		64		94
当期純利益（又は損失）		▲4,045		▲152,345

令和3年3月期末 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部			負債及び純資産の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)		令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)
現金預け金	162,934	757,003	借 用 金	3,109,411	5,846,249
有価証券	36	17	社 債	470,077	499,049
貸 出 金	5,083,789	8,116,466	そ の 他 負 債	3,178	4,019
その他資産	3,755	4,201	賞 与 引 当 金	1,202	1,232
有形固定資産	47,378	48,030	役 員 賞 与 引 当 金	6	6
無形固定資産	2,879	4,429	退 職 給 付 引 当 金	20,268	20,485
支払承諾見返	19,619	22,928	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	13	14
貸倒引当金	▲302,295	▲474,118	支 払 承 諾	19,619	22,928
			負 債 の 部 合 計	3,623,778	6,393,986
			資 本 金	1,703,937	2,546,937
			利 益 剰 余 金	▲309,618	▲461,963
			純 資 産 の 部 合 計	1,394,318	2,084,973
資産の部合計	5,018,097	8,478,960	負債及び純資産の部合計	5,018,097	8,478,960



## 概 要（中小企業者向け融資・証券化支援保証業務勘定）

### 1 損益計算書の状況

令和3年3月期は、資金運用収益650億円の計上等により、経常収益は806億円となった。

一方、資金調達費用44億円、貸倒引当金繰入額1,976億円の計上等により、経常費用は2,329億円となった。

この結果、経常損失は1,522億円となり、特別損失を含めた当期純損失は1,523億円となった。

### 2 貸借対照表の状況

資産の部合計は、貸出金残高が前期末に比べ3兆326億円増加したこと等により、8兆4,789億円となった。

負債の部合計は、借入金が前期末に比べ2兆7,368億円増加したこと等により、6兆3,939億円となった。

純資産の部合計は、出資金8,430億円の受入れ及び当期純損失1,523億円の計上により、2兆849億円となった。

令和3年3月期 中小企業事業（中小企業者向け証券化支援買取業務勘定）

令和3年3月期 損益計算書

（単位：百万円）

科 目	令和2年3月期 (H31.4.1~R2.3.31)		令和3年3月期 (R2.4.1~R3.3.31)	
経常収益		682		724
資金運用収益	225		231	
役務取引等収益	385		479	
その他経常収益	71		13	
経常費用		529		573
資金調達費用	3		3	
役務取引等費用	404		472	
その他業務費用	13		1	
営業経費	82		95	
その他経常費用	25		0	
経常利益（又は損失）		153		151
当期純利益（又は損失）		153		151

令和3年3月期末 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部			負債及び純資産の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)		令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)
現金預け金	16,381	11,976	社 債	30,000	21,000
有価証券	38,677	34,166	その他負債	118	160
その他資産	115	127	賞与引当金	2	3
前払年金費用	2	4	役員賞与引当金	0	0
支払承諾見返	78,460	68,087	退職給付引当金	46	40
貸倒引当金	▲30	▲18	役員退職慰労引当金	0	0
			支払承諾	78,460	68,087
			負債の部合計	108,629	89,292
			資本金	24,476	24,476
			利益剰余金	501	576
			純資産の部合計	24,977	25,052
資産の部合計	133,606	114,344	負債及び純資産の部合計	133,606	114,344

## 概 要（中小企業者向け証券化支援買取業務勘定）

### 1 損益計算書の状況

令和3年3月期は、役務取引等収益479百万円の計上等により、経常収益は724百万円となった。一方、役務取引等費用472百万円の計上等により、経常費用は573百万円となった。この結果、経常利益及び当期純利益は151百万円となった。

### 2 貸借対照表の状況

資産の部合計は、支払承諾見返（支払承諾）が前期末に比べ10,372百万円減少したこと等により、114,344百万円となった。

純資産の部合計は、76百万円を国庫に納付した一方、当期純利益151百万円を計上したことから、25,052百万円となった。

令和3年3月期 中小企業事業（信用保険等業務勘定）

令和3年3月期 損益計算書

（単位：百万円）

科 目	令和2年3月期 (H31.4.1~R2.3.31)		令和3年3月期 (R2.4.1~R3.3.31)	
経常収益		195,366		201,636
資金運用収益	340		249	
保険引受収益	194,860		201,250	
その他経常収益	165		136	
経常費用		197,756		920,455
保険引受費用	189,340		910,314	
営業経費	5,019		5,195	
その他経常費用	3,396		4,945	
経常利益（又は損失）		▲2,389		▲718,819
特別損失		0		0
当期純利益（又は損失）		▲2,389		▲718,819

令和3年3月期末 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部			負債及び純資産の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)		令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)
現金預け金	3,084,299	4,572,170	保険契約準備金	773,166	1,536,853
その他資産	14,269	23,806	その他負債	1,017	1,667
有形固定資産	17,819	17,679	賞与引当金	223	201
無形固定資産	1,145	1,164	役員賞与引当金	1	1
			退職給付引当金	4,583	4,673
			役員退職慰労引当金	1	2
			負債の部合計	778,993	1,543,398
			資本剰余金	2,052,284	3,503,984
			利益剰余金	286,257	▲432,562
			純資産の部合計	2,338,541	3,071,421
資産の部合計	3,117,534	4,614,820	負債及び純資産の部合計	3,117,534	4,614,820

## 概 要（信用保険等業務勘定）

### 1 損益計算書の状況

令和3年3月期は、保険料の計上等により、保険引受収益が2,012億円となったこと等から、経常収益は2,016億円となった。

一方、保険金及び保険契約準備金繰入額の計上等により、保険引受費用が9,103億円となったこと等から、経常費用は9,204億円となった。

この結果、経常損失は7,188億円となり、特別損失を含めた当期純損失は7,188億円となった。

### 2 貸借対照表の状況

負債の部合計は、保険契約準備金が前期末に比べ7,636億円増加したこと等により、1兆5,433億円となった。

純資産の部合計は、出資金1兆4,517億円の受入れ及び当期純損失7,188億円の計上により、3兆714億円となった。

令和3年3月期 危機対応円滑化業務（危機対応円滑化業務勘定）

令和3年3月期 損益計算書

（単位：百万円）

科 目	令和2年3月期 (H31.4.1~R2.3.31)		令和3年3月期 (R2.4.1~R3.3.31)	
経常収益		11,251		10,139
資金運用収益	8,147		6,631	
役務取引等収益	834		1,998	
政府補給金収入	146		154	
その他経常収益	2,123		1,354	
経常費用		20,627		21,769
資金調達費用	8,105		6,480	
その他業務費用	2,750		5,143	
営業経費	169		206	
その他経常費用	9,602		9,939	
経常利益（又は損失）		▲9,376		▲11,630
当期純利益（又は損失）		▲9,376		▲11,630

令和3年3月期末 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部			負債及び純資産の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)		令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)
現金預け金	742,410	767,321	借 用 金	1,327,740	4,420,649
貸 出 金	1,327,740	4,570,649	社 債	-	150,273
そ の 他 資 産	192	269	そ の 他 負 債	926	11,141
有形固定資産	1	3	賞 与 引 当 金	7	7
無形固定資産	24	118	役 員 賞 与 引 当 金	0	0
前払年金費用	19	18	退 職 給 付 引 当 金	90	92
			役 員 退 職 慰 労 引 当 金	0	0
			補 償 損 失 引 当 金	25,652	25,449
			負 債 の 部 合 計	1,354,417	4,607,613
			資 本 金	969,534	995,960
			利 益 剰 余 金	▲253,562	▲265,192
			純 資 産 の 部 合 計	715,971	730,767
資産の部合計	2,070,388	5,338,380	負債及び純資産の部合計	2,070,388	5,338,380

## 概要（危機対応円滑化業務勘定）

### 1 損益計算書の状況

令和3年3月期は、資金運用収益66億円の計上等により、経常収益は101億円となった。

一方、資金調達費用64億円の計上等により、経常費用は217億円となった。

この結果、経常損失及び当期純損失は116億円となった。

### 2 貸借対照表の状況

資産の部合計は、貸出金残高が前期末に比べ3兆2,429億円増加したこと等により、5兆3,383億円となった。

負債の部合計は、借入金が増加したこと等により、4兆6,076億円となった。

純資産の部合計は、出資金264億円の受入れ及び当期純損失116億円の計上により、7,307億円となった。

令和3年3月期 特定事業等促進円滑化業務（特定事業等促進円滑化業務勘定）

令和3年3月期 損益計算書

（単位：百万円）

科 目	令和2年3月期 (H31.4.1~R2.3.31)		令和3年3月期 (R2.4.1~R3.3.31)	
経常収益		273		216
資金運用収益	198		140	
政府補給金収入	75		75	
その他経常収益	0		0	
経常費用		286		227
資金調達費用	198		140	
営業経費	87		86	
その他経常費用	0		0	
経常利益（又は損失）		▲12		▲11
当期純利益（又は損失）		▲12		▲11

令和3年3月期末 貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部			負債及び純資産の部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)		令和2年3月期末 (R2.3.31)	令和3年3月期末 (R3.3.31)
現金預け金	225	210	借 用 金	132,977	121,647
貸 出 金	132,977	121,647	そ の 他 負 債	76	96
そ の 他 資 産	73	83	賞 与 引 当 金	3	3
有形固定資産	1	2	役 員 賞 与 引 当 金	0	0
無形固定資産	9	19	退 職 給 付 引 当 金	49	47
前払年金費用	9	9	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	0	0
			負 債 の 部 合 計	133,107	121,794
			資 本 金	267	267
			利 益 剰 余 金	▲77	▲89
			純 資 産 の 部 合 計	189	177
資産の部合計	133,296	121,972	負債及び純資産の部合計	133,296	121,972



## 概 要（特定事業等促進円滑化業務勘定）

### 1 損益計算書の状況

令和3年3月期は、資金運用収益140百万円の計上等により、経常収益は216百万円となった。

一方、資金調達費用140百万円の計上等により、経常費用は227百万円となった。

この結果、経常損失及び当期純損失は11百万円となった。

### 2 貸借対照表の状況

資産の部合計は、貸出金残高が前期末に比べ11,330百万円減少したこと等により、121,972百万円となった。

負債の部合計は、借入金が前期末に比べ11,330百万円減少したこと等により、121,794百万円となった。

純資産の部合計は、当期純損失11百万円の計上により、177百万円となった。

## リスク管理債権

(単位:百万円)

	国民生活事業 (国民一般向け業務勘定)	農林水産事業 (農林水産業者 向け業務勘定)	中小企業事業 (中小企業者向け融資・証 券化支援保証業務勘定)	3事業合計
破綻先債権	4,192	641	3,817	8,651
延滞債権	116,297	77,425	681,051	874,775
3カ月以上延滞債権	53	320	—	374
貸出条件緩和債権	389,568	68,770	109,933	568,272
合計	510,113	147,157	794,803	1,452,073
リスク管理債権合計 ／貸出金残高 (%)	4.01	4.31	9.79	5.99

## 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	国民生活事業 (国民一般向け業務勘定)	農林水産事業 (農林水産業者 向け業務勘定)	中小企業事業 (中小企業者向け融資・証 券化支援保証業務勘定)	3事業合計
破産更生債権及び これらに準ずる債権	23,509	2,180	10,450	36,139
危険債権	97,188	76,018	674,503	847,710
要管理債権	389,622	69,090	109,933	568,647
小計①	510,319	147,290	794,887	1,452,498
正常債権	12,216,509	3,279,214	7,347,518	22,843,243
合計②	12,726,829	3,426,504	8,142,470	24,295,805
(①／②) (%)	4.01	4.30	9.76	5.98

(注) 1. 当公庫は、金融再生法（金融機能の再生のための緊急措置に関する法律（平成10年法律第132号））の適用はありませんが、民間金融機関の基準に準じて算出したものです。

2. 中小企業事業及び3事業合計の合計②は要管理先の求償権で弁済契約を締結したものを含み、小計①及び正常債権の合計と相違しております。